

清水町地域福祉計画



平成17(2005)年度～平成26(2014)年度

清 水 町

はじめに

急速な少子高齢化の進展や社会福祉に関する諸制度の改革が進む中で、福祉を取り巻く環境は、大きく変化しています。近年は、高齢者や障害のある人など対象を限定した福祉から、全住民を対象とする福祉へと視点が変わりつつあります。

そこで必要となるのは、一人ひとりが自立した生活を送ることができるよう、地域住民や行政、福祉サービス事業者が力を合わせて、住んでいるまちを暮らしやすくするための仕組みをつくっていく「地域福祉」の推進です。

第4期総合計画に掲げた「心と心がしぜんに響きあうまち」に基づき、地域福祉に取り組んでまいりましたが、来年度から新たな清水町まちづくり計画（第5期総合計画）がスタートするにあたり、この地域福祉計画の見直しを行い、まちづくり計画の第2編に掲げる「誰もが健康で思いやりのあふれるまちづくり」を、わたしたちが目指す「地域福祉」の将来像とし、誰もが健康で安心して暮らせる福祉のまちづくりを計画的に進めていくために「清水町地域福祉計画」を策定しました。

この計画の取り組みを実行していくためには、住民誰もが地域に関心を持ち、自発的に地域社会に参加していくことが不可欠です。住民の皆様の地域福祉への積極的な参加とご協力をお願い申し上げます。

最後に、この計画の策定にあたり、熱心にご審議いただきました清水町地域福祉計画策定委員会の委員の皆様をはじめ、数多くの貴重なご意見、ご提言をいただきました町民の皆様に心から感謝申し上げます。

平成22年（2010年）12月

清水町長

高薄 渡

目 次

| | | |
|-----|---------------------------|----|
| 第1章 | 計画の策定にあたって | 1 |
| 1 | 計画策定の趣旨 | 1 |
| 2 | 計画の位置づけ | 1 |
| 3 | 計画の期間 | 2 |
| 4 | 計画策定の経緯 | 2 |
| 第2章 | 地域福祉を取り巻く現状 | 6 |
| 1 | 清水町の人口、年齢区分別人口、人口構成 | 6 |
| 2 | 町内会、農事組合の加入状況 | 8 |
| 3 | 障がいのある人の状況 | 9 |
| 第3章 | 計画の基本理念と基本目標 | 10 |
| 第4章 | 施策の展開 | 12 |
| 1 | 思いやりの心を育てるための福祉教育 | |
| (1) | 児童、生徒の福祉教育 | 12 |
| (2) | 生涯学習を通じた福祉教育 | 14 |
| 2 | みんなで支え合うための福祉ネットワークづくり | |
| (1) | 地域福祉活動の推進 | 15 |
| (2) | 地域住民によるネットワークづくり | 17 |
| (3) | 福祉活動拠点の利用 | 18 |
| (4) | ボランティア、NPO法人の活動支援 | 20 |
| (5) | 社会福祉協議会との連携・協力 | 21 |
| 3 | 自立した生活を送ることができる地域社会づくり | |
| (1) | 総合的な相談体制の充実 | 22 |
| (2) | 情報提供とケアマネジメント | 24 |
| (3) | 保健・福祉サービス施策の推進 | 25 |
| (4) | 福祉サービス利用者の権利擁護 | 29 |
| 4 | 安全で安心して暮らせるための環境づくり | |
| (1) | 生活環境の整備 | 31 |
| (2) | 人材・福祉事業者の育成 | 33 |
| | 具体的施策の展開 | 34 |
| 第5章 | 計画の推進に向けて | |
| 1 | 住民、福祉事業者、行政の協働による計画の推進と役割 | 38 |
| 2 | 社会福祉協議会による地域福祉の推進 | 40 |
| 3 | 計画推進のために | 40 |

【資料編】

| | | |
|---|----------------|-----|
| 1 | 用語の説明（用語解説） | 41 |
| 2 | 策定経過（策定委員会の状況） | 44 |
| 3 | アンケート調査 | 48 |
| 4 | 関係団体等聞き取り調査の概要 | 95 |
| 5 | 策定委員会委員名簿 | 101 |
| 6 | 策定委員会設置要綱 | 103 |